

## 2011年度事業報告概要

### 【事業報告】

#### 〈Ⅰ. 教育〉

##### 1. 歯学部

###### (1) 教育・カリキュラム

- ① 新たな教育システムの検討、構築
  - a. ウィークリーテストを引き続き実施し検証、検討、改善を行った。
  - b. レポートの添削等の個別指導を導入した。
  - c. 進級試験、卒業試験のあり方を再度検証し、厳格に進級判定を行った。第4学年は共用試験を用いて進級判定を行った。
- ② 授業時間外の学習支援  
“イブニング・サポート”を実施した。
- ③ カリキュラムの改善
- ④ 事務体制を見直し、組織の合理化を行った。

###### (2) 学生生活

- ① 学内奨学金制度による経済的な支援
- ② 三者面談の実施
- ③ 学生の健康、精神面での対応

###### (3) 国家試験の合格率向上のための教育指導を実施した。

##### 2. 大学院歯学独立研究科・総合歯科医学研究所

###### (1) 教育事業

- ① 大学院教育の実質化の推進  
論文作成に関する講義や統計学など4科目を導入。社会人学生への対応として授業をDVDに収録し、授業に参加できない学生に配布したほか、メール等による個別指導を実施した。
- ② 研究発表会の開催
- ③ 研究経過報告書  
研究の進捗状況を把握し、研究活動をサポートした。
- ④ 学位授与

###### (2) 2012年度入学者選抜試験の実施

###### (3) 研究

- ① 国内および海外共同研究
- ② 科学研究費補助金の採択について  
2011年度に交付された科学研究費補助金は51件。民間からの受託研究は2件、奨学寄附金は12件であった。

###### (4) 臨床

2010年度から本学病院にて実施している「がんの樹状細胞ワクチン療法」について、がんの免疫療法の拠点としての本学病院の役割は一層増大している。

##### 3. 松本歯科大学衛生学院

###### (1) 教育事業

###### (2) 学生募集事業

###### (3) 2012年度入学者選抜試験の実施

#### 〈Ⅱ. 病院・診療〉

##### 1. 病院

- (1) 歯科部門の診療体制の整備
- (2) 病院機能の高度化・充実

##### 2. 診療

###### 患者数と診療報酬額

各部門において実績を伸ばしたことにより、病院全体の患者数が前年比5.3%増、および診療実績では、前年比5.3%増となり、前年度を上回る結果となった。

### 3. 病院経費の見直し、削減

#### 〈Ⅲ. 管理・運営〉

##### 1. 施設・設備の整備

省エネルギー対策の推進

- ① 本館電気室の高圧変圧器を最新式高効率変圧器に更新した。
- ② 本館東側1号機エレベーターを更新・2号機を廃止。
- ③ 光熱費の対前年比更なる削減を遂行した。
- ④ 『平成23年度エネルギー管理優良事業者』として『中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰』を受けた。

##### 2. 管理経費の削減

入学生の安定確保のため2012年度入学者に対して大幅な学費の減額を決定した。これにより将来的な安定運営のため、さらに様々な経費の見直しを行った。

##### 3. 組織・人事

- (1) 教員の若返りと若手人材育成、学生数に対応した教員体制の実現のため60歳以上の教育職員を対象に早期退職制度規程を制定した。
- (2) 教育、事務組織の効率化のため適宜人事異動を行った。

##### 4. 広報・学生募集

2012年度入学者に対する学費の大幅な減額を決定したことにより、本学校友関係も含め大幅な志願者の増加に繋がった。また、一日体験入学の開催回数を増やし多数の参加者を集めた。留学生募集については担当スタッフを中心とした現地説明会、高校訪問を実施し、また、台湾において入試を行ったことにより、多くの留学生を確保した。

##### 5. 図書館

- (1) 国立情報学研究所の学術機関リポジトリ構築連携支援委託事業の一環である「信州共同リポジトリ」に正式参加した。
- (2) 推薦書コーナーを引き続き設置した。
- (3) 洋雑誌の冊子体の購入見直しおよび電子ジャーナルの導入を検討した。

##### 6. 知財管理・産学連携

- (1) 独立行政法人工業所有権情報・研修館の「広域知的財産アドバイザー事業」によるアドバイザーの支援事業に参加し、「産学官連携ポリシー」、「知的財産ポリシー」および「産学官連携推進室規程」を制定するなど産学官連携支援体制および知的財産管理体制の構築を推進した。
- (2) 松本市の「松本地域健康産業推進協議会」に参加し、研究者が取り組む課題に関係する事業を提案した。
- (3) 一般財団法人塩尻市振興公社、信州メディカル産業振興会および塩尻市商工会議所が主催する「病院ニーズ産業化研修会 in 松本歯科大学」の開催に協力し、地域企業との歯科医療を通じた産学官連携を目指した。

##### 7. 公的研究費の管理

- (1) 新たに「科研費執行マニュアル」を制定した。
- (2) 公的研究費の使用や応募に関して学内説明会を実施した。
- (3) 公的研究費を使用した物品購入に関して公的研究費の使用ルールに則った発注納品検収を徹底するため、納品検収センターを設置した。
- (4) 研究費等審査委員会・防止計画推進部署会を毎月開催し、研究費の執行状況の確認、委員による発注物品のチェックを行う体制を整備した。
- (5) 研究費の使用に関し、不正発生防止のため、研究者に対するアンケート調査を実施した。
- (6) 内部監査部門において、納品された物品の検査、研究者、納品検収センターに対してルールに則った手続がなされているかモニタリングを実施した。

##### 8. その他

防災訓練について、2011年度はより実践的な訓練とするため松本広域消防局との合同訓練により、はしご車やポンプ車、救急車などによる救助訓練や本学自衛消防隊による防災訓練を実施した。